

令和7年度学校評価

項目	教職員への質問内容	評価	考察
学力の向上	授業で基礎基本の定着を図っているか	A	
	ひなたの学びを意識した授業の構築と実践がなされたか	A	一人一回の研究授業を行い、ひなたの学びを意識した授業を行っているか確認出来た。
	教科や学年等で指導方法の検討や授業の取組等の情報交換の連携が図られたか	A	教科部会や研究授業を通して、各教科の情報交換が出来た。
	生徒の実態に応じた指導方法や評価の工夫・改善を行ったか	A	
	加久藤スタイル「学びのルール5箇条」・「教師のルール5箇条」は徹底されたか	A	
	小中共通テーマによる授業研究会は行われたか	A	定期的に合同研修会を行い、活発な意見交換が出来た。
	宅習ノートは効果的に活用されたか	B	宅習については、内容に個人差があり、宅習の効果で学力が向上したとは言えない。
	えびの学は計画的に実施されたか	A	
	えびの学を通じて、生徒のシビックプライドは醸成されたか	A	まちづくり協議会と協働して方言学習など、今までにない取組が出来た。
	学年に応じた適切な進路指導がなされたか	A	1年生から学年に応じた進路学習を行い、将来の展望を見通せるような手立てがとられた。
豊かな思いやりのある心の醸成	職員間での「報告・連絡・相談」の徹底は確立されているか	A	学年・分掌部での連絡・相談・報告は連携し行えた
	「助け合い・教え合い・励まし合い・認め合い・分かち合い」の意図的な場面設定はできたか	A	
	生徒理解と支援体制は整備されているか	A	不登校傾向の生徒にも家庭訪問や、学校での支援を行うことができた。
	定期的に学校生活アンケートは行われたか	A	毎月行うことが出来、気になる生徒の支援を行うことができた。
	SC及びSSCは積極的に活用されたか	B	SSWには不登校生徒の家庭訪問など熱心な協力をしてもらった
	専門委員会を通じた啓発活動は実施されたか	B	計画的に委員会活動はできた
	1日を振り返る場面は設定されたか	B	
	教室環境の整備はよくなされたか	A	日直等を使って、教室の美化活動は毎日行うことができた。
教科書を十分活用したか	A		

令和7年度学校評価

〃	主題のねらいにふさわしい補助資料等が準備されたか	A	各教科の担当が、ロイノートなどを使い、生徒が興味をもって取り組める資料を活用した
	授業は年間計画に従い、適切に進められたか	B	
	道徳的心情、判断力、実践意欲と態度は育っているか	B	4月に比べて、生徒の学校生活は落ち着いており、相手を思いやる行動が見られるようになった。
	人権教育は、十分に実践されたか	A	計画的に行うことができた。
健康 安全の 確保と 体力の 向上	通学路の安全確認や登下校指導を行っている	A	登校指導を生活指導部と生徒で毎日行うことができた。
	実践的な避難訓練及び交通安全教室は実施されたか	A	計画的に実行することが出来た。
	各種治療率は向上したか	A	保護者と生徒の意識が向上し、治療率が昨年より上昇した。
	食に関する知識と実践力は習得されたか	B	「お弁当の日」を設定し、計画的に行うことができた。
	立腰教育は徹底されたか	B	
	体力向上プランに基づいた指導は実践されたか	A	体育科を中心に計画的に実践された。
家庭・ 地域との 連携の 促進	保護者とのレポートづくりのための個人的な取組はなされているか	B	
	学校だよりや各種通信は発行されたか	A	学校だよりは校長が毎月作成し、地域にも周知されるようになった。
	ホームページは迅速に更新されたか	A	各行事ごとにホームページの更新はおこなわれた
	安心・安全メールによる積極的な情報交換は行われたか	A	月行事や、保護者への連絡事項など、安全メールで連絡が出来た。
	PTA行事や地域行事を活用したまちづくり協議会との連携は行われたか	A	まちづくり協議会と連携し、生徒にふるさとについての教育を行うことができた。
	学校支援ボランティアに積極的に依頼は行われたか	A	キャリア教育支援センターと協働しながら、各講座を開くことができた。
	生徒と保護者が共に学び合う場面は設定されたか	B	
	PTA行事は保護者のニーズ寄り添った内容に転換されているか	B	
学校評価を生かした学校改善は行われたか	A		